

第7回

# 宇宙教育プログラム2.0

11月6日  聴講者募集(オンライン)

東京理科大学で実施している「宇宙教育プログラム」の一部を一般にオンラインで公開します。ぜひご参加ください。

## 実施内容

10:00～11:30

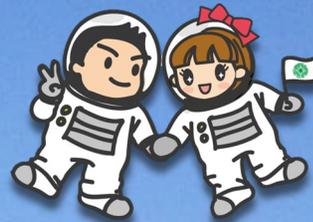
「大型宇宙機のための研究開発  
～宇宙ヨットと宇宙発電所～」

講師：相馬央令子氏  
(国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構 研究開発部門)

経歴：2003年東京理科大学工学部電気工学科卒業。2008年同大学院博士後期課程修了。博士(工学)。  
在学中からスペースデブリの衝突検出システムの研究を行う。世界初の宇宙ヨットIKAROSで、  
電力セイル(薄膜太陽電池)の開発・運用に従事。現在は宇宙太陽光発電システムの研究に携わる。研究のかたわら、  
一般の人へ宇宙開発の魅力を伝える活動も行っている。

## 講義概要

現在、一番大きい宇宙機は国際宇宙ステーション(サッカー場の大きさと同じくらい)ですが、21世紀半ばの実現を目指している宇宙太陽光発電システム(宇宙発電所)は、数km四方という桁違いに大きな宇宙機です。このような大型宇宙機をつくるためには、ロケットへの宇宙機の収納や、宇宙で展開・結合など、様々な工夫が必要です。本講義では、世界初の宇宙ヨットIKAROSや宇宙発電所の研究開発を中心に、簡単な実験を交えながら最新研究を紹介します。



## 申込方法

<https://www.tus.ac.jp/uc/entry.html>

※オンライン講義の参加には、申込完了メールに記載のURL から事前登録が必要となります。  
ご登録後に届くオンライン講義参加に関する確認メールに従い、ご参加ください。  
定員になり次第、募集を締め切ります。

募集期間：2022年11月4日(金) 9:00まで  
聴講定員：300名(申込順) / 聴講料：無料



### 【宇宙教育プログラム2.0】

2020年度までに実施してきた理工系中心のプログラムを人文社会の分野にも広げるとともに、教育学の手法を取り入れて、宇宙を題材にした主体的・対話的で深い学びに基づく中高生向けの教材・カリキュラムを開発、実践できる大学院生・大学生を育成します。

【次回実施日】11月20日(日) ※申込受付中

## 問い合わせ

東京理科大学 宇宙教育プログラム(学務部学務課)  
〒162-8601 東京都新宿区神楽坂1-3

TEL:03-5228-7329 URL:<https://www.tus.ac.jp/uc/>  
E-mail:tus\_uchu@admin.tus.ac.jp

